

2018年度第1期新アイデアス研修プログラム講義一覧

<グローバル人材養成研修>

2018年10月30日時点

I. 履修科目(カリキュラム)・・・原則として、6コマ以上の科目については、レポート提出または筆記テストを行う。

			(単位:コマ数)
1. 研修生の履修科目			
(1) 国際貿易・投資・金融	教授	所属	20
①「貿易投資の理論とアジア太平洋経済」	石戸 光	千葉大学法政経学部総合政策学科教授	6
②「地域統合の政治安全保障」	鈴木 早苗	(未定)	1
③「WTOにおける途上国特惠制度」	箭内 彰子	アジア経済研究所新領域研究センター法・制度研究グループ長代理	2
④「付加価値貿易:モノの貿易から価値の貿易へ」	猪俣 哲史	アジア経済研究所新領域研究センター上席主任調査研究員	1
⑤「経済地理シミュレーションモデルによるインフラストラクチャーの経済効果」	熊谷 聡	アジア経済研究所開発研究センター経済地理研究グループ長	1
⑥「開発途上国の都市化と経済成長」	橋口 善浩	アジア経済研究所新領域研究センターグローバル・バリュー・チェーン研究グループ	1
⑦「生産ネットワークの空間的拡張:インフラ開発・企業の能力構築・市場」	植木 靖	アジア経済研究所開発研究センター経済統合研究グループ	1
⑧「投資促進政策・経済特区・物流」	石田 正美	アジア経済研究所開発研究センター長	2
⑨「東アジアの経済統合」	梅崎 創	アジア経済研究所開発研究センター経済統合研究グループ長	1
⑩「東アジアの生産ネットワーク」	黒岩 郁雄	アジア経済研究所開発研究センター上席主任調査研究員	2
⑪「規制/プライベート・スタンダードと国際貿易」	道田 悦代	アジア経済研究所新領域研究センター環境・資源研究グループ	2
(2) 日本の産業と企業(日本の開発経験)			8
①「日本の経営」	宮島 英昭	早稲田大学商学学術院教授	3
②「財政の経済理論と実際」	佐藤 主光	一橋大学大学院経済学研究科教授	3
③「日本の経済、貿易、投資とジェトロの活動」	長島 忠之	ジェトロ本部海外調査部上席主任調査研究員	1
④「世界の貿易・投資の現状」	明日山 陽子	ジェトロ本部海外調査部国際経済課長代理	1
(3) 産業の競争力			12
①「企業の戦略:生産・マーケティング・革新」	川上 桃子 藤田 麻衣 福西 隆弘 丁 可 坂口 安紀 清水 達也 岩崎 葉子	アジア経済研究所地域研究センター次長 アジア経済研究所地域研究センター東南アジアII研究グループ長 アジア経済研究所地域研究センターアフリカ研究グループ長 アジア経済研究所開発研究センター企業・産業研究グループ アジア経済研究所地域研究センター主任調査研究員 アジア経済研究所ラテンアメリカ研究グループ長 アジア経済研究所開発研究センター企業・産業研究グループ長	各1コマ(7)
②「ビジネスと人権」	山田 美和	アジア経済研究所新領域研究センター法・制度研究グループ長	2
③「SDGs～誰も取り残さない開発のために必要なこと～」	佐藤 寛	アジア経済研究所新領域研究センター上席主任調査研究員	3
(4) 集中講義【海外大学院の教授又は国際機関の専門家】			10
①「国際貿易・投資・金融に関するテーマ」	Michael Roberts	Head, Aid for Trade Unit, Development Division, World Trade Organization (WTO)	10
(5) ゼミナール			10
①「政策課題に関するケース・スタディーについての考察と発表」	黒岩 郁雄 武内 進一 川上 桃子 湊 一樹 佐藤 千鶴子 長田 博	アジア経済研究所開発研究センター上席主任調査研究員 アジア経済研究所新領域研究センター上席主任調査研究員 東京外国語大学現代アフリカ地域研究センター長/教授 アジア経済研究所地域研究センター次長 アジア経済研究所地域研究センター南アジア研究グループ アジア経済研究所地域研究センターアフリカ研究グループ 帝京大学経済学部経済学科教授	10
(6) 日本語Ⅰ			20
①基礎日本語	小島 礼子 伊藤 三枝子	一般社団法人日本国際協力センター(JICE)	20
(7) 特別講義(任意参加)※1			5
①特別講義Ⅰ:米トランプ政権のイラン核合意離脱とその後の展開	鈴木 均	アジア経済研究所新領域研究センター上席主任調査研究員	1
②特別講義Ⅱ	Housam Darwish	アジア経済研究所地域研究センター中東研究グループ	1
③特別講義Ⅲ	山岡 加奈子	アジア経済研究所地域研究センターラテンアメリカ研究グループ	1
④特別講義Ⅳ:中国の都市化:農民から経営者へ	任 哲	アジア経済研究所新領域研究センターガバナンス研究グループ	1
⑤特別講義Ⅴ:(日本は西洋に如何にキャッチアップしたか)	深尾 京司	アジア経済研究所所長	1
計			85

II. 国内研修(教室での講義を補い、日本の国内事情について実地に学ぶ)※2

			(単位:日数)
1. 企業訪問			
(1) 都内(3社:会社等)	—	—	1
(2) 名古屋地区(4社:自動車メーカー等)	—	—	2
計			3
注)外国人・日本の大学院生等共に対象(但し、日本の大学院生等の参加は任意)			

III. 千葉県共催国際交流プログラム(千葉県内の高校を訪問、一般家庭へのホームティ等を通じ、日本理解を深める交流活動を実施)←日本語の習得後に実施予定※1

			(単位:日数)
1. 高校訪問			
県内9高	—	—	1
計			1
注)外国人のみ対象			

外国人研修生対象科目です(日本人研修生はご参加いただけません)。
 外国人研修生対象科目ではありますが、参加費無料でお申し込みいただけます(任意参加とします)。
 外国人研修生対象科目ではありますが、参加費負担(交通費・旅費等を含む)を条件としてお申し込みいただけます(任意参加とします)。